

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 JALCOホールディングス株式会社
 コード番号 6625 URL <http://www.jalco-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 田辺 順一
 (氏名) 大浦 隆文

TEL 050-5536-9824

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	711	△25.6	98	—	7	△64.6	△69	—
26年3月期第3四半期	956	55.7	△1	—	21	—	△284	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △67百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △282百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△1.44	—
26年3月期第3四半期	△7.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	5,607	2,658	47.4	55.00
26年3月期	4,015	2,726	67.9	56.40

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,658百万円 26年3月期 2,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	885	△30.1	130	271.0	5	△16.7	△15	—	△0.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	48,337,132 株	26年3月期	48,337,132 株
27年3月期3Q	192 株	26年3月期	128 株
27年3月期3Q	48,336,982 株	26年3月期3Q	40,653,781 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による金融緩和や政府による経済政策等を背景に、景気は緩やかな回復傾向が見られました。しかしながら、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や円安進行による原材料価格の高騰などにより、依然として不透明な状況は続いております。

当社は、平成26年6月30日発表「特設注意市場銘柄の指定及び上場契約違約金の徴求についてのお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、東京証券取引所より内部管理体制について改善の必要性が高いと認められたために、平成26年7月1日付で「特設注意市場銘柄」に指定されました。当社は、この事態を深く反省し、平成26年9月12日発表「第三者委員会の調査報告に基づく再発防止策について」のとおり改善策を決定し、全社一丸となりまして、内部管理体制の強化に向けた取り組みを進めております。

このような状況において、当社グループは、引き続きパチンコホール様を主たるお客様として、中古遊技機のレンタル、不動産等のオフバランス、及びファイナンスなどを行うアミューズメント事業に経営資源を集中し、当第3四半期におきましては、平成26年12月に東京都大田区西蒲田の不動産を取得し、同月より賃貸を開始するなど事業基盤の強化を実現しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高7億11百万円（前年同期比2億44百万円減）、営業利益98百万円（前年同期比1億円増）となりました。

経常損益につきましては、株式会社オムコによる不正取引に関する事実解明のための調査費用、これに起因する過年度会計処理に関する諸費用として平成26年3月期決算において計上した取引先不正調査等諸費用引当金繰入額60百万円について、当該費用が確定したことに伴い、取引先不正調査等諸費用引当金戻入益11百万円、及び、為替相場の変動により為替差益14百万円を営業外収益として各々計上したこと、これに対して、賃貸用不動産購入資金等の借入金利息39百万円、平成26年7月に神奈川県川崎市の賃貸不動産について信託設定を行った際に不動産信託化関連諸費用56百万円、及び、平成26年3月期通期決算におきまして貸倒引当金繰入額81百万円を計上した杭州佳路克電子有限公司向けUS\$建て債権について、為替相場の変動により、平成26年12月末における債権残高が95百万円となったことに伴い、当第3四半期連結累計期間における増加額14百万円（貸倒引当金繰入額）を営業外費用として各々計上したことなどにより、当第3四半期連結累計期間における経常利益は7百万円（前年同期比13百万円減）となりました。

また、特別損益につきましては、千葉県松戸市の不動産の一部譲渡を行ったことに伴う固定資産売却益1億5百万円、レンタル用中古遊技機の売却に伴う固定資産売却益13百万円を各々計上したことなどにより、特別利益1億19百万円を計上しました。これに対して、平成26年6月30日付にて東京証券取引所より上場契約違約金の徴求を受けたことに伴い、上場契約違約金支払損失10百万円、平成26年12月16日付で金融庁より課徴金納付命令を受けたことに伴い、課徴金1億51百万円、平成24年9月に東北タツミ株式会社に対して電子機器用部品事業の事業譲渡を行った際の中国における税務関連費用などの諸費用の精算を行ったことに伴い、事業譲渡関連損失6百万円、レンタル用中古遊技機の売却に伴う固定資産売却損13百万円を各々計上したことなどにより、特別損失1億84百万円を計上しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における四半期純損失は69百万円（前年同期比2億14百万円減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して4億8百万円増加し7億97百万円となりました。これは主に、新規の短期貸付金が4億円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して11億82百万円増加し48億10百万円となりました。これは主に、大田区西蒲田に賃貸用不動産を購入したことにより土地、建物が15億円増加したことに対して、千葉県松戸市の不動産の一部及び、福島県いわき市の不動産譲渡により土地が3億9百万円、アミューズメント事業におけるレンタル用資産の新規購入と売却による差額17百万円が各々減少したことなどによるものであります。

以上により、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して15億91百万円増加し56億7百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較して3億56百万円増加し14億3百万円となりました。これは主に、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が5億14百万円増加したことに対し、取引先不正調査等諸費用引当金60百万円、レンタル売上前受金35百万円、不動産取得税の支払い等に伴い未払金25百万円、未払法人税等11百万円、借入金にかかる利息の支払い等に伴い未払費用18百万円が各々減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して13億2百万円増加し15億45百万円となりました。これは主に、大田区西蒲田に保有する賃貸用不動産の賃貸契約締結に伴い預り保証金8百万円及び、神奈川県川崎市に保有する賃貸用不動産を信託化したことに伴い長期借入金13億25百万円が各々増加したことに対して、賃貸先からの預り保証金16百万円を信託先へ移管したこと及び、関係会社清算損失引当金14百万円が各々減少したことなどによるものであります。

以上により、当第3四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末と比較して16億59百万円増加し29億48百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して67百万円減少し26億58百万円となりました。これは主に、当第3四半期連結累計期間において、四半期純損失69百万円を計上したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月12日発表「平成26年3月期決算短信」における平成27年3月期通期連結業績予想を修正いたしております。

詳細につきましては、本日発表「営業外収益、営業外費用及び特別損失の発生並びに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	317,548	296,374
売掛金	244	23,538
短期貸付金	10,329	411,425
未収入金	39,634	34,909
仮払金	21,638	7,958
その他	7,198	32,134
貸倒引当金	△7,858	△8,858
流動資産合計	388,736	797,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,683	94,099
レンタル用資産(純額)	262,368	244,991
工具、器具及び備品(純額)	1,251	915
土地	2,050,866	3,171,280
有形固定資産合計	2,319,169	3,511,285
無形固定資産		
ソフトウェア	21,442	28,625
電話加入権	284	284
無形固定資産合計	21,726	28,909
投資その他の資産		
投資有価証券	340	340
長期貸付金	1,225,670	1,217,880
破産更生債権等	443,420	443,420
長期未収入金	131,386	130,327
差入保証金	6,372	18,158
その他	3,972	616
貸倒引当金	△524,806	△540,748
投資その他の資産合計	1,286,355	1,269,995
固定資産合計	3,627,252	4,810,190
資産合計	4,015,988	5,607,672
負債の部		
流動負債		
買掛金	—	8,024
短期借入金	725,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	26,256	66,252
未払法人税等	27,287	15,561
未払金	40,631	15,271
未払費用	18,871	459
レンタル売上前受金	86,567	51,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
その他前受金	18,914	13,249
仮受金	31,533	31,533
取引先不正調査等諸費用引当金	60,000	—
その他	12,362	2,119
流動負債合計	1,047,423	1,403,944
固定負債		
長期借入金	124,557	1,450,412
繰延税金負債	16,332	16,332
退職給付に係る負債	5,997	6,091
長期預り保証金	16,525	8,000
関係会社清算損失引当金	79,047	64,215
固定負債合計	242,460	1,545,051
負債合計	1,289,883	2,948,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,884,157	1,884,157
資本剰余金	3,936,709	3,936,709
利益剰余金	△2,991,871	△3,061,624
自己株式	△13	△23
株主資本合計	2,828,982	2,759,219
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△102,877	△100,542
その他の包括利益累計額合計	△102,877	△100,542
純資産合計	2,726,104	2,658,677
負債純資産合計	4,015,988	5,607,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	956,892	711,897
売上原価	790,682	444,918
売上総利益	166,210	266,978
販売費及び一般管理費	167,729	168,489
営業利益又は営業損失(△)	△1,519	98,488
営業外収益		
受取利息	22	29
受取配当金	68	204
為替差益	28,190	14,723
受取賃貸料	17,853	5,630
レンタル代金受領益	—	6,496
取引先不正調査等諸費用引当金戻入益	—	11,167
その他	5,280	1,557
営業外収益合計	51,415	39,809
営業外費用		
支払利息	10,037	39,819
賃貸不動産経費	5,214	1,270
株式交付費	9,914	1,854
貸倒引当金繰入額	—	16,941
不動産信託化関連諸費用	—	56,466
その他	3,223	14,322
営業外費用合計	28,389	130,674
経常利益	21,507	7,623
特別利益		
固定資産売却益	377,100	119,354
その他	417	—
特別利益合計	377,518	119,354
特別損失		
海外納税損失	19,498	—
海外納税損失引当金繰入	22,411	—
不動産売却損失	36,629	—
不動産売却損失引当金繰入	11,810	—
固定資産売却損	159,027	13,967
設備売却損失引当金繰入	982	—
貸倒引当金繰入額	373,822	—
上場契約違約金支払損失	—	10,000
事業譲渡関連損失	—	6,621
課徴金	—	151,500
その他	—	2,332
特別損失合計	624,182	184,422
税金等調整前四半期純損失(△)	△225,156	△57,444
法人税等	59,346	12,308
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△284,503	△69,752
四半期純損失(△)	△284,503	△69,752

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△284,503	△69,752
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,847	2,335
その他の包括利益合計	1,847	2,335
四半期包括利益	△282,656	△67,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△282,656	△67,417

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

当社グループは、アミューズメント事業を主たる事業としており、その他に電子機器用部品事業を行っておりますが、前連結会計年度において電子機器用部品事業を他社に譲渡したことにより、当第3四半期連結累計期間における電子機器用部品事業の売上は、譲渡先からのブランド使用料のみとなっております。従いまして、報告セグメントはアミューズメント事業のみとし、その他の事業は全体として重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

当社グループは、アミューズメント事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業は全体として重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。